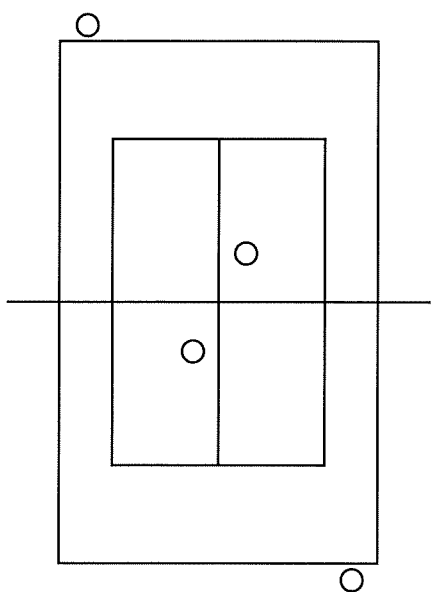


## ポジションについて

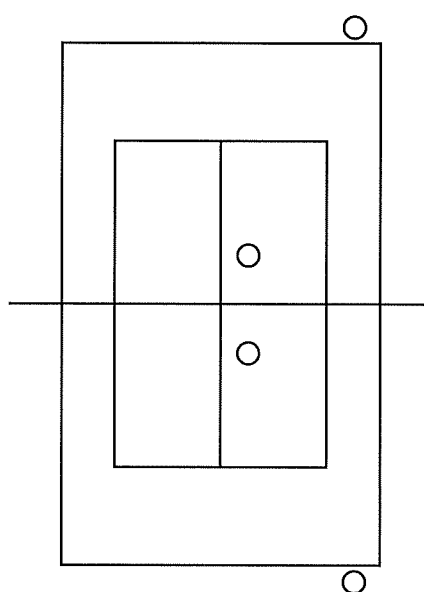
- 1.相手の後衛とセンターマークを結ぶライン上に位置する。
- 2.相手の後衛が自分から見て、右に2歩移動した場合は、その半分の1歩右に移動する。
- 3.パートナーの打ったボールがベースライン付近に落ちた場合は良いボールと判断して、攻めのポジションに入る。また、パートナーの打ったボールが短くなる場合や、ゆるいボールの時は守りのポジションに入る。
- 4.攻めのポジションとは、純クロスの通常のポジションの右足の所に左足を置くポジションで、守りのポジションとは左足の所に右足を置くポジションである。
- 5.攻めのポジションを取るのは純クロスでパートナーのボールが良かったほかに、相手のラケットの握りが厚かったり、頭がさがってボールをおっかけてきたり、相手が自分を見ないで回り込んでフォアで打ちにきた場合などが考えられる。
- 6.守りのポジションはパートナーのボールが短かったり、ゆるいボール以外に相手が自分の顔を見たり、前にサイドパスもしくは、アタックしてきた場合、止めるまでくると考えて守りに入る。(特にスポ少あがりの後衛)
- 7.セカンドサービスの時は、ボールのバウンドした位置と1直線上になるポジションを取る。
- 8.相手が下がりながらボールを打ちにくる時は、ロビングがあがってくることが多いので1歩さがって待つようにする。
- 9.ストレート展開の時は、最低でもサービスセンターマークをまたぐようにして、パートナーの守る範囲を少なくする。

# ポジション

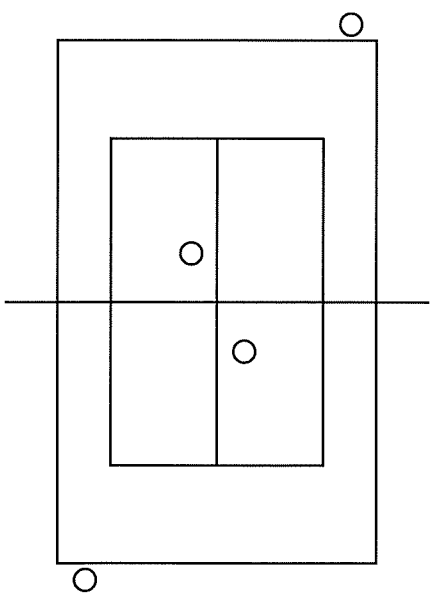
順クロス



ストレート1



逆クロス



ストレート2

